

ローカルルール

- 1, O.B. の境界は白杭をもって表示する。
- 2, 現にプレーしているホールのOB線を越えて向こう側に止まった球はOBとする。
- 3, ペナルティーエリアは黄杭または黄線、赤杭または赤線、修理地は青杭または白線にて表示し線上はその地域とする。
- 4, NO,2, 3, 6, 13, 15, 18 ホールにおいて第1打がOBまたは紛失球になった場合は指定の特設ティーからプレイング4として打たなければならない。但しNO,7はプレイング3とする。
- 5, 排水溝、カート道、樹木の支柱、その他コース維持のための人工物件は動かさない障害物とする。
- 6, 人工の表面を持つ道路に接した排水溝はその道路の一部とする。
- 7, グリーンに近接する障害物がグリーンから2クラブレングス以内にあり、球からも2クラブレングスの範囲内でプレーの線上にかかっている場合はニアレストポイントにドロップすることができる。
- 8, ホールとホールの間では競技者はプレーを終了したばかりのホールのグリーン上、およびその近くではいかなる場合も練習ストロークを行ってはならない。※ハーフとハーフの間での練習施設での練習を除く。
- 9, ジェネラルエリアではイノシシによって生じた損傷（芝を掘り起こした跡等）の区域は修理地として扱われる。しかし、スタンスだけが障害となっている場合は救済できない。
- 10, プレーヤーの球が見つからない、あるいはOBであることがほぼ確実な場合、ストロークと距離に基づいて処置（1打罰で打ち直しに帰る）する他に、2打罰を受け、下記の救済エリアに元の球か別の球をドロップすることができる。ただし暫定球をプレーした場合は適用できない。

アウトオブバウンズ



OBの境界を最後に横切ったと推定される地点Aとピンから等距離のフェアウェイの地点Bからフェアウェイ側へ2クラブレングスを加えた後方（Cの区域）にドロップすることができる。

紛失球

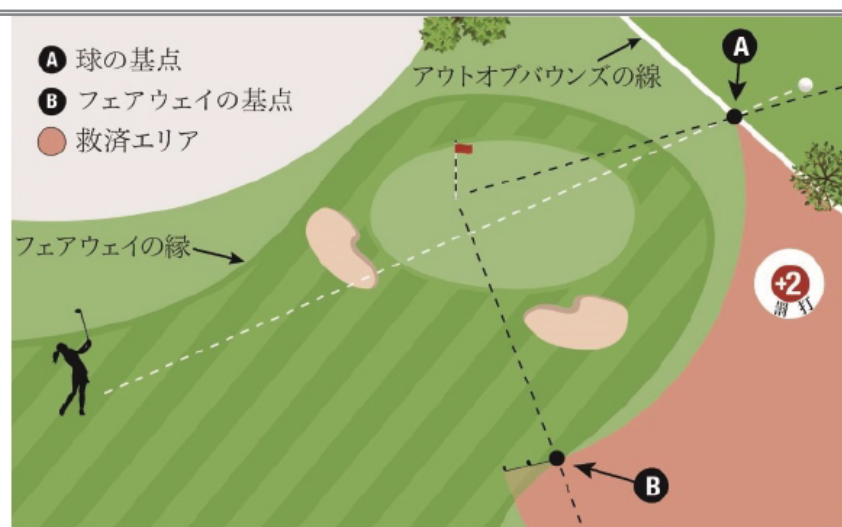


元の球がコース上に止まったと推定される地点Aとピンから等距離のフェアウェイの地点Bから、それぞれ外側へ2クラブレングスを加えた後方（Cの区域）にドロップすることができる。

グリーンの奥で紛失球またはOBの場合

元の球がコース上に止まったと推定される、あるいはOBの境界を最後に横切ったと推定される地点Aとピンから等距離のフェアウェイの地点Bからフェアウェイ側へ2クラブレングスを加えた後方（Cの区域）にドロップすることができる。

+2 罰打



- 11, ローカルルールに違反した場合は、マッチプレーにあってはそのホールを失い、ストロークプレーにあっては、罰打2を課す。

このルール改定は 2019 年 1 月 1 日より施行する

競技委員会

クラブからのお願い

- 1, 正規の打順のプレーヤーがすぐに打てない場合は、安全を確保のうえ準備のできたプレーヤーから先にプレーしましょう。
- 2, ホールに立てたまの旗竿にグリーン上からストロークした球が当たっても罰はありませんが、原則として1度旗竿を抜いたら最後の打者がホールアウトするまで抜いたままプレーしましょう。

